

外部評価 様式

令和3年度 城東小学校 外部評価 記入用紙	
評価委員：加藤一男委員、清水貞男委員、富田正一委員、千葉家門委員、倉橋邦夫委員 江口雅子委員、林登美雄委員、劔持隆委員、小村眞理委員	
評価時期	令和4年2月
<p>1 重点目標の評価</p> <p>重点目標1「確かな学力の向上」について</p> <ul style="list-style-type: none">・タブレットを使った授業は、先生方の熱意を受けてほぼうまくいっている様子がかがえた。タブレット活用は時代の流れを取り入れていて評価できる。・学習の基礎・基本の習熟の時間を確保しつつ、学びの楽しさを子どもたち一人一人に具現化できるよう期待している。・コロナ禍で、体験活動を十分に味合わせることが難しかった1年間だったことは理解できる。今後の手厚いケアと学習内容の発信を期待している。 <p>重点目標2「心豊かな子どもの育成」について</p> <ul style="list-style-type: none">・たてわり班活動の評価が高く、子どもたちもその延長で友達との関わりが良好なことがうかがえる。・「心豊かな子どもの育成」については、都心にある学校だからこそ力を入れてほしい。あいさつキャンペーンやたてわり班活動により一定の評価が出ていることが良い。・心豊かな3つの「あ」の実践には、家庭での協力が必要不可欠なので、保護者にも理解と協力をお願いする必要があると感じる。 <p>重点目標3「健康・安全教育の充実」について</p> <ul style="list-style-type: none">・コロナ、天災等に係わる対策の評価が高いことは大変うれしいことである。交通安全を含め、これからも継続してほしい。・大幅に制限がある中、運動機会を設け、成果を上げていることは評価できる。継続してほしい。 <p>2 今後の改善に向けた意見</p> <ul style="list-style-type: none">・全教職員が系統づけて指導できるよう、道徳教育の一層の充実を図ってほしい。・コロナ禍の影響は多方面に渡って出ていると思うが、今後も城東小学校としてのこれまでの方針を守り、しっかりと続けていくことを期待している。 <p>3 その他の意見</p> <ul style="list-style-type: none">・来年度は新校舎への移転・落成式を控え、新しい環境を意識した行動目標の作成、教育活動の展開に向けた準備に、学校・保護者・地域がチーム城東として結束を図りたい。・日本橋というブランドを理解できるような野外活動を地域も望んでいる。学校と地域の連携を深めて進めていきたい。	

* 各学校のホームページで公表していきます。